

1938L 19.0 型 LCD オープンフレーム タッチモニター ユーザーガイド



19.0型LCD オープンフレームタッチモニター

1938L ユーザーガイド

改訂版A

P/N E754504

Copyright © 2008 Tyco Electronics. 無断複写・転載を禁じます。

Elo TouchSystemsの書面による事前の許可なく、本書の内容の一部または全部をいかなる媒体にも、電子、磁気、光学、化学、手動などの（但し、必ずしもこれらに限定されない）方法により複製、送信、転写、情報検索システムに記録すること、あるいは他の言語やコンピュータ言語へ翻訳することなどは禁止されています。

ご注意

本書記載の内容は予告なしに変更することがあります。Elo TouchSystemsでは本書の内容に関して表明あるいは保証はいたしません。特に、市販性、特定目的との適合性についていかなる默示の保証もしません。Elo TouchSystemsは、本書記載内容を適宜改訂あるいは変更する権利を有します。そのような改訂あるいは変更する際、Elo TouchSystemsはいかなる者にも通知する責任はありません。

商標

IntelliTouch, SecureTouch, TE Logo and Tyco Electronics are trademarks.

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

Tyco Electronicsは当社の商標以外の商標につき権利を主張することはありません。

注記：本書は、英語の原文を日本語に翻訳したものです。原文と翻訳に相違がある場合には、原文の記載事項が優先します。

目次

第1章	
はじめに	5
製品概要	5
事前注意事項	5
製品について	6
第2章	
インストールとセットアップ	7
梱包内容の確認	7
接続方法	8
製品の外観	9
前面図	9
背面図	9
タッチパネルドライバのインストール	10
Windows XP、Windows 2000、Me、95/98用タッチ パネルドライバのインストール	11
Windows XP用APR USBタッチパネルドライバのイ ンストール	13
第3章	
基本操作	14
タッチモニターの調節	14
リアパネルコントロール	15
OSDリモコン(オプション)	15
制御／調整	16
OSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューの 機能	16
OSD(オンスクリーンディスプレイ)調整項目	17
表示モードのプリセット	18
パワーマネジメント機能	19
第4章	
トラブルシューティング	20
よくある問題の解決方法	20
付録A	
ネイティブ解像度	22
付録B	
使用上のご注意	24
タッチモニターのお手入れ／取り扱い	25
付録C	
製品仕様	26
19.0型LCDタッチモニター(ET1938L-XXXA-X-G) の外形寸法	28
規制情報	29
ご使用の前に	32
保証	37
索引	39

1

章

はじめに

製品概要

お買い上げのタッチモニターはLCD(液晶ディスプレイ)モニターと信頼性の高いタッチパネルを組み合わせた製品です。

このLCDモニターは19.0型カラーアクティブマトリックスTFTにより、最高のディスプレイ性能を提供しています。最大解像度WXGA 1440 x 900はグラフィックや画像を表示するには理想的です。この製品は、プラグ&プレイとオンスクリーンディスプレイ(OSD)に対応しています。

事前注意事項

本製品のご使用にあたっては、本ユーザーマニュアルの推奨事項であるすべての警告、予防装置、メンテナンスに従ってください。使用上のご注意については、B-24ページ付録Bをご覧ください。

製品について

お求めのLCDオープンフレームタッチモニターは19.0型WXGA TFTカラー表示機能と以下の機能を備えています。

- ・内蔵マイクロプロセッサは水平走査周波数31.5 KHz および80 KHzと、垂直走査周波数56.3 Hz および75.0 Hzのオートスキャンをデジタル制御。各周波数モードでは、マイクロプロセッサを用いた回路によってモニターが固定周波数の高精度で機能。
- ・高コントラストカラーTFT LCD表示は最高解像度WXGA 1440 x 900に対応。
- ・VGA、SVGA、XGA、SXGA(ノンインターレース)およびマッキントッシュ準拠のカラービデオカードに対応。
- ・VESA DPMS準拠の電源管理システム
- ・プラグ&プレイ機能DDC 2B対応。
- ・オンスクリーンディスプレイ(OSD)で画質調整制御。

製品の全仕様についてはC-26ページ付録Cをご覧ください。

2 章

インストールとセットアップ

本章ではLCDタッチモニターとドライバソフトウェアのインストール方法について説明しています。

梱包内容の確認

タッチモニター本体及び以下の付属品がそろっていること、また破損がないかを確認してください。



LCD タッチモニター



アナログ RGB ケーブル



USB ケーブル



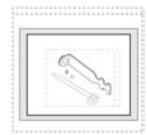
RS-232C ケーブル



DVI-D ケーブル



TouchTools CD-ROM・
クイックインストールガイド



ストレインリリーフキット



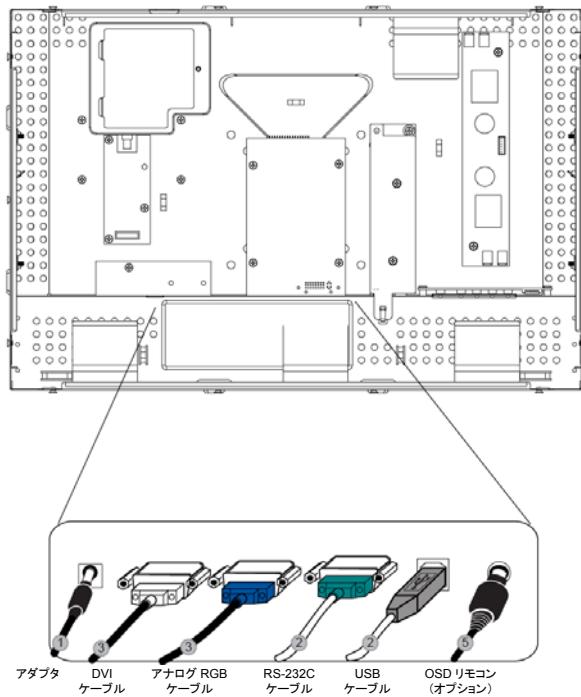
取り付け用ブラケット

注記：電源アダプタとケーブルセットの全リストについては、

www.elotouch.comの1938L製品のページをご覧ください。

接続方法

注記:タッチモニターやコンピュータにケーブルを接続する前に、各機器の電源が切れていることを確認してから行ってください。



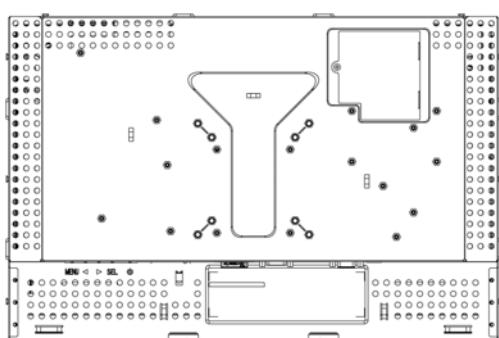
1. 電源アダプタの片方をモニターに、もう一方を電源コードに接続してください。
2. RS-232CケーブルまたはUSBケーブルのどちらか(両方ではなく)をコンピュータの背面に、もう一方をLCDタッチモニターに接続してください。蝶ネジ2個を右回りに閉めて接地を正しく行ってください(USBケーブルには蝶ネジはありません)。
3. アナログRGBケーブル又はDVI-Dケーブルをコンピュータの背面に、もう一方をLCDタッチモニターに接続してください。蝶ネジ2個を右回りに閉めて接地を正しく行ってください。
4. リアパネルの電源ボタンを押してモニターの電源を入れてください。
5. OSDリモコンをモニターに接続してください(オプション)。

製品の外観

前面図



背面図



タッチパネルドライバのインストール

Elo TouchSystemsではタッチモニターがお持ちのコンピュータで作動するようにためのドライバソフトウェアを提供しています。ドライバは同封のCD-ROMに入っており、以下のオペレーティングシステムで利用できます。

- ・ Windows XP
- ・ Windows 2000
- ・ Windows Me
- ・ Windows 98
- ・ Windows 95
- ・ Windows NT 4.0

ドライバの最新版や他のオペレーティングシステムのドライバ情報については、Elo TouchSystemsのウェブサイト：

<http://www.elotouch.com/Support/Downloads/dnld.asp>をご覧ください。

お求めのElo タッチモニターはプラグ&プレイ対応です。Windows が起動するとタッチモニターのビデオ性能にある情報がビデオ表示アダプタに送信されます。Windows がタッチモニターを検出したらスクリーンの指示に従って一般的なプラグ & プレイモニターをインストールしてください。

タッチパネルドライバのインストール

Windows XP、Windows 2000、Me、95/98用タッチパネル ドライバのインストール(APR以外のタッチパネルの場合)

注記: Windows XPおよびWindows 2000にインストールする場合は、管理者アクセス権が必要です。

- 1 お持ちのコンピュータのCD-ROM ドライブにElo CD-ROMを挿入してください。

Windows XP、Windows 2000、Windows 98、Windows Meが新しいハードウェアの追加ウィザードを開始したら、次の指示に従ってください (開かなかった場合は、ステップ1aから2aに従ってください) :

- 2 「Next (次へ)」を選択してください。「デバイスの最適ドライバ (推奨) を検索」を選択して、「Next (次へ)」を選択してください。
- 3 検索場所のリストが表示されたら、「場所の特定」にチェックマークを付けて、「Browse (ブラウズ)」を使用してElo CD-ROMの¥EloUSB ディレクトリを選択してください。
- 4 「Next (次へ)」を選択してください。Elo TouchSystemsのタッチパネルが検出されたら、もう一度「Next (次へ)」を選択してください。
- 5 複数のファイルがコピーされます。指示があったらWindows 98 CDを挿入してください。「Finish (終了)」を選択してください。

Windows XP、Windows 2000、Windows 98、Windows Meが新しいハードウェアの追加ウィザードを開始しなかったら、次の指示に従ってください :

- 1a コンピュータのCD-ROM ドライブにElo CD-ROM を挿入してください。CD-ROM ドライブの自動起動機能が作動すると、システムが自動的にCDを検出し、プログラム設定を開始します。
- 2a スクリーンの指示に従って、お持ちのWindowsバージョンのドライバ設定をしてください。

自動起動機能が作動しない場合 :

- 1 「Start (スタート)」 > 「Run (実行)」をクリックしてください。
- 2 「Browse (ブラウズ)」ボタンをクリックしてCD-ROMにEloCd.exe プログラムを検索してください。

- 3 「Open (開く)」をクリックして「OK」をクリックしてからEloCd.exeを実行してください。
- 4 スクリーンの指示に従ってお持ちのWindowsバージョンのドライバ設定をしてください。

Windows XP用APR USBタッチパネルドライバのインストール

お持ちのコンピュータのCD-ROMドライブにElo APR CD-ROMを挿入してください。
スクリーンの指示に従って、お持ちのWindowsバージョンのAPR 2.0ドライバ設定を完了してください。

1. 「Start(スタート)」 > 「Run(実行)」をクリックしてください。
2. 「Browse (ブラウズ)」ボタンをクリックしてCD-ROMのSW600117.exeプログラムを検索してください。
3. 「Open(開く)」 > 「OK」をクリックしてSW600117.exeを実行してください。
4. スクリーンの指示に従ってお持ちのWindowsバージョンのドライバ設定を完了してください。

3 章

基本操作

タッチモニターの調節

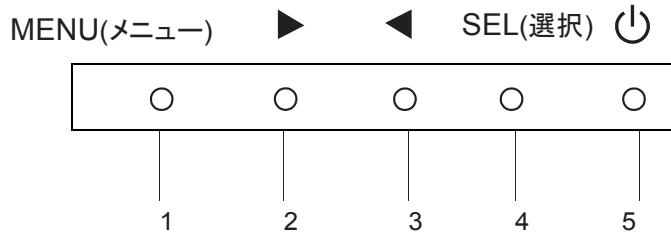
一般的にはタッチモニターの各調節は必要ありませんが、使用されるビデオボードやアプリケーションによって表示する画質を最適化するためにタッチモニターの調節が必要になることがあります。

最高の性能を出すには、必ず、タッチモニターはネイティブ解像度1440 x 900、60 Hzで操作してください。Windowsの表示コントロールパネルを使って解像度1440 x 900を選択してください。

別の解像度で操作すると、ビデオの性能が低下しますのでご注意ください。詳細についてはA-22ページの付録Aを参照してください。

全制御調整は自動的に記憶しますので、タッチモニターのプラグを抜いたり電源をオン／オフにする度にリセットする必要はありません。電源障害が起きてもタッチモニターの設定は本来の仕様である初期値にはなりません。

リアパネルコントロール



コントロール	機能
1. Menu/Exit (メニュー/終了)	OSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューの表示／終了
2. ▶	1. OSDコントラストの入力 2. 各項目の調整値の増加 3. 右回りの選択
3. ◀	1. 輝度調整の入力 2. 各項目の調整値の減少 3. 左回りの選択
4. Select (選択)	OSDメニューから調整値の選択
5. Power Switch (電源スイッチ)	モニターの電源スイッチ

OSDリモコン(オプション)



コントロール	機能
1. Menu/Exit (メニュー/終了)	OSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューの表示／終了
2. ▶	1. OSDコントラストの入力 2. 各項目の調整値の増加 3. 右回りの選択
3. ◀	1. 輝度調整の入力 2. 各項目の調整値の減少 3. 左回りの選択
4. Select (選択)	OSDメニューから調整項目の選択

制御／調整

OSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューの機能

OSD機能の表示／選択：

1. 「メニュー」キーを押してOSDメニューを起動してください。
2. ▲▼を使ってメニュー内で移動してください。「選択」キーを押して選択されると、パラメタがハイライトされます。
3. 操作中にOSDスクリーンを終了するには、「メニュー」キーを押してください。短時間内にキーを押さないと、自動的にOSDは表示されなくなります。

注記： 入力が45秒間検知されないと、OSDスクリーンは表示されなくなります。

オンスクリーンディスプレイ(OSD)調整項目

コントロール	詳細
Contrast(コントラスト)	コントラストの増加／減少
Brightness(輝度)	輝度の増加／減少
V-Position(垂直位置)	スクリーンの上下移動
H-Position(水平位置)	スクリーンの左右移動
Recall Defaults	モニターの初期設定に戻る
RGB(赤/緑/青)	◀か▶を押して、930、6500、5500、7500、USER（ユーザ）を選択。「USER（ユーザ）」を選択する場合のみR/G/Bコンテントの調整が可能。
Resolution(解像度)	プリセットオプションから選択
Sharpness(シャープネス)	鮮明さの調整。
Phase(位相)	自動調整の後、画像のスノーノイズの増加・減少。
Clock(クロック)	自動調整の後、Dot Clock(ドットクロック)の微調整。
OSD H-Position (OSD水平位置)	スクリーンのOSD位置を水平に移動。 ▶ボタンを押すと、OSD制御メニューがスクリーンの右側に移動。同様に、◀ボタンを押すと、OSD制御メニューが左側に移動。
OSD V-Position (OSD垂直位置)	スクリーンのOSD位置を垂直に移動。 ▶ボタンを押すと、OSD制御メニューがスクリーンの上側に移動。同様に、◀ボタンを押すと、OSD制御メニューが下側に移動。
OSD Time(OSD時間)	何も作動しない場合自動的に閉じるまでのOSDメニューの待機時間(秒)を決定。
Auto-Adjust(自動調整)	「Auto(自動)」を押して機能を有効にする。「Auto-Adjust(自動調整)」は自動的に垂直表示位置、水平表示位置、クロック、クロックフェーズを調整。
OSD Language(OSD言語)	英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、日本語、韓国語、イタリア語、繁体字中国語、簡体字中国語から選択。
Information Description (詳細情報)	最新の解像度、水平周波数、垂直周波数を表示。

表示モードのプリセット

さまざまなモードの調整ニーズを削減するためにモニターにはデフォルト設定モードがあり、以下の表のように一般的に使用されています。このような表示モードが検知されると、モニターが自動的に画像サイズを調整してセンタリングします。一致するモードがない場合は、ユーザはユーザモードに推奨モードを保存できます。モニターはユーザモードを7つまで保存できます。ユーザモードとして保存する条件は、新規表示情報は水平周波数には1KHz差異、垂直周波数には1Hzが必要であり、同期信号極性がデフォルトモードとは異なります。

モード	解像度	水平同期 周波数 (KHz)	垂直同期 周波数 (Hz)	水平	垂直
1	VGA 640 x 350@70Hz	31.4	70	-	-
2	VGA 720 x 400@70Hz	31.4	70	-	+
3	VGA 640 x 480@60Hz	31.4	59.9	-	-
4	VGA 640 x 480@66Hz	35.0	66.6	+	+
5	VGA 640 x 480@72Hz	37.8	72.8	-	-
6	SGA 800 x 600@56Hz	35.1	56.2	+	+
7	SGA 800 x 600@60Hz	37.8	60.3	+	+
8	SGA 800 x 600@72Hz	48.0	72.1	+	+
9	XGA 1024 x 768@60Hz	48.3	60.0	-	-
10	XGA 1024 x 768@65Hz	53.9	66.1	-	+
11	XGA 1024 x 768@72Hz	57.6	72.0	-	-
12	XGA 1024 x 768@75Hz	60.0	75.0	+	+
13	SXGA 1280 x 1024@60Hz	63.9	60.0	+	+
14	SXGA 1280 x 1024@75Hz	79.9	75.0	+	+
15	1440 x 900@60Hz	67.5	75.0	-	+
16	1152 x 864@75Hz	56.48	75.0	+	+
17	1280 x 768@65Hz	51.8	65.0	+	+
18	1680 x 1050@60Hz	65.3	59.9	-	+
19	1366 x 768@60Hz	47.7	60.0	-	-
20	1280 x 960@60Hz	60.0	60.0	+	+
21	832 x 624@75Hz	60.0	108	+	+
22	1280 x 768@60Hz	47.7	79.5	-	+
23	1280 x 768@75Hz	60.3	102.3	-	+
24	1360 x 768@60Hz	47.7	60.0	+	+

パワーマネジメント機能

本モニターはパワーマネジメント機能が備えてあり、使用していない場合の電力消費を自動的に削減します。

モード	電力消費
On(オン)	<45W
Sleep(スリープ)	<4W
Off(オフ)	<2W

タッチモニターを使用していないときにはスクリーンセーバーを利用するようにお奨めします。

注記: モニターが作動していないときには自動的にパワーマネジメント機能(PMS)のステップに従って作動します。モニターを起動するにはキーボードのキーを押すか、マウスを移動してください。

第
4
章

トラブルシューティング

以下のような場合は、故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。不具合が直らない場合はお近くの販売店か、サービスセンターまでご連絡ください。

より詳しい内容は、弊社日本語ホームページ(<http://www.tps.co.jp>)の「サポート」の項をご覧ください。

よくある問題の解決方法

問題	提案
システムを作動させてもモニターが起動しないあるいは画面に何も表示されない	<ul style="list-style-type: none">モニターの電源スイッチがオンになっているか確認してください。電源を切って、モニターの電源コードや信号ケーブルが適切に接続されているか確認してください。
スクリーンの文字がぼやけて見えるあるいは画面が明るすぎる／暗すぎる	<ul style="list-style-type: none">「タッチモニターの調整」の章を参照して輝度やシャープネスを調節してください。
画面が乱れている、あるいは表示位置がずれている	<ul style="list-style-type: none">信号ケーブルを確実に接続してください。コンピュータの信号タイミングや映像出力レベルがモニターの仕様にあっていることを確認して、OSDにより画面調整してみてください。
画面に何も表示されない、あるいはスクリーンが空白状態になる	<ul style="list-style-type: none">映像信号がコンピュータから出力されていることを確認してください。映像信号ケーブルが正しく接続されていること、及びコネクタやケーブルが破損していないことを確認してください。省電力機能が作動して操作中にモニタースクリーンが自動的に消えることがあります。どのキーでもいいので押してスクリーンが再表示されるか確認してください。「タッチモニターの調節」の章(3-17ページ)を参照して輝度を調節してください。

- | | |
|------------------------|--|
| 表示を再起動するとスクリーンがフラッシュする | <ul style="list-style-type: none"> ・ モニターの電源をオフにしてから、もう一度電源をオンにしてください。 |
| 「Out Of Range」が表示される | <ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータの解像度がLCD表示のものよりも高くないか確認してください。 ・ コンピュータの解像度を1440 x 900 以下か、同等になるように再設定してください。解像度の詳細については プリセットモードか付録A(A-25ページ)を参照してください。 |
| タッチが作動しない | <ul style="list-style-type: none"> ・ タッチパネルケーブルの両端がしっかりと接続しているか確認してください。 |
| タッチ位置がずれる | <ul style="list-style-type: none"> ・ タッチパネルケーブルの両端がしっかりと接続しているか確認してください。LCDタッチモジュール通電開始時(表示電源ON時ではありません)にタッチ面に何か接触させていないことを確認してください。 ・ キャリブレーション(位置補正)終了後に表示設定を変更していませんか？ ・ キャリブレーション(位置補正)は表示設定確定後に正しく行ってください。 |

以下は故障ではありません

- お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合がありますが、故障ではありません。画面位置を正しく調整してご使用ください。
- 映像品質は、PC等からの映像信号の品質やケーブルに影響される場合があります。その場合、リフレッシュレートを変更すると改善される場合があります。付属以外の映像信号ケーブルを用いたり、映像信号に分配器や中継基板を用いる場合は、映像に乱れが発生する可能性がありますので、予めシステムでの検証を行ってご使用ください。
- LCDタッチモジュールは、表示する色や明るさにより微少な斑点およびむらが見えることがありますが、故障ではありません。
- コンピュータのBIOSによっては、省電力機能でタッチパネルが動作しなくなる場合があります。
- お客様のシステムのディスプレイドライバやBIOS等が変更された場合、映像品質に影響がでる場合がありますので、システムでの変更がある場合は、予め検証を行ってご使用ください。
- ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがありますが、故障ではありません。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。
- 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。
- 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像(焼き付きのような症状)が発生する可能性があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善されます。
 - ・画面の表示パターンを変える
 - ・数時間電源を切っておく
- 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、修理のためお買い上げの販売店、またはタッチパネル・システムズ株式会社へご連絡ください。

A

ネイティブ解像度

モニターのネイティブ解像度はLCDパネルが最高性能で作動する解像度です。1938L LCDタッチモニターのネイティブ解像度は1440 x 900です。ほとんどの場合、ネイティブ解像度でスクリーン画像をご覧いただぐと最高の画像をお楽しみいただけます。

入力ビデオ	19.0型LCD
640 x 480 (VGA)	入力フォーマットを1440 x 900に変換
800 x 600 (SVGA)	入力フォーマットを1440 x 900に変換
1024 x 768 (XGA)	入力フォーマットを1440 x 900に変換
1280 x 1024 (SXGA)	入力フォーマットを1440 x 900に変換
1440 x 900 (WXGA)	ネイティブ解像度で表示

LCDのネイティブ解像度はLCDの水平ピクセル数 x LCDの垂直ピクセル数です。通常、LCD解像度は以下のように示されます。

VGA	640 x 480
SVGA	800 x 600
XGA	1024 x 768
SXGA	1280 x 1024
WXGA+	1440 x 900
WSXGA+	1680 x 1050

一つ例を挙げると、LCDパネルのWXGA+ 解像度は水平ピクセル数1440 × 垂直ピクセル数900です。入力ビデオも同様に表示されます。WXGA 入力ビデオのフォーマットは水平ピクセル数1440 × 垂直ピクセル数900です。ビデオ入力フォーマットの入力ピクセルがパネルのネイティブ解像度と一致する場合、入力ビデオピクセルに対するLCDピクセルは1対1です。例として、入力ビデオの行45と列26にあるピクセルはLCDの行45と列26にあります。入力ビデオがLCDネイティブ解像度よりも低い場合、ビデオピクセルとLCDピクセル間の直接通信がなくなります。LCDコントローラはコントローラのアルゴリズムを利用してビデオピクセルとLCDピクセル間の通信を算出します。アルゴリズムの精度はビデオピクセルからLCDピクセルへの変換の忠実度を決定します。変換の忠実度が高い場合、文字幅が変動するなどLCD表示画像が不自然になります。

B

使用上のご注意

本ユーザーガイドにはタッチモニターの適切な設定方法やメンテナンスなどの重要な情報が記載されています。タッチモニターを設定したり電源を入れる前に、特に、本ユーザーガイドの第2章(インストール)、第3章(基本操作)についてよく読んでください。

- 1 感電の危険を少なくするために、安全に関する警告に従い、タッチモニターは絶対に分解しないでください。
- 2 クリーニングの前に製品の電源をオフにしてください。
- 3 お買い上げいただいたタッチモニターには、アース付き3ピン電源コードが付属しています。電源コードのプラグはアース付きコンセントにのみに適合します。本来の目的に沿って設定されていないコンセントにプラグを差し込まないでください。キズを受けた電源コードは使用しないでください。付属の電源コードだけを使用してください。付属以外の電源コードを使用された場合、保証外となることがあります。
- 4 タッチモニターの側面や上面には通気孔があります。これをふさいだり、何かを挿入したりしないでください。
- 5 タッチモニターが濡れないように十分に注意を払ってください。モニターに異物または水などの液体が入った場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は弊社にご連絡ください。

タッチモニターのお手入れ／取り扱い

Elo タッチモニターをお手入れする場合、以下の点にご注意ください。

- 感電の危険を避けるため、タッチモニターを分解しないでください。お客様にて本製品の修理を行わないでください。クリーニングの際には、タッチモニターの電源プラグを抜いてから行ってください。
- アルコール(メチル、エチル、イソプロピル)など溶解力の強いものを使用しないでください。シンナー、ベンジン、研磨剤、圧縮空気、ワックス、酸性、アルカリ性の溶剤を使用しないでください。表示ユニットのキャビネットをクリーニングする際には、中性洗剤で軽く湿らせた布を利用してください。キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質するなどの原因となります。
- タッチモニターの内側に液体が入らないようにしてください。液体が内側に入ってしまった場合は、販売店または弊社までご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。
- タッチパネルを傷つけることがあるので、硬いものでこすったり、ひっかいたりしないでください。また、硬い布やスポンジで拭かないでください。
- タッチパネルをクリーニングする際は、窓ガラス用洗剤かガラス磨きスプレーを使用してください。布に洗剤をつけてからタッチパネルを拭いてください。絶対に、直接洗剤をタッチパネルにスプレーしないでください。



警告

本製品は水銀が含まれている部材を使用していますので、本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。(本装置ではモニター表示内のバックライトランプに水銀が含まれています。)



電気装置および電子装置の破棄(WEEE)指令

欧州連合では、本ラベルは「本製品は家庭廃棄物として処理してはならない」という意味を示しています。修理やリサイクルのために適切な施設で処理してください。

付録

C

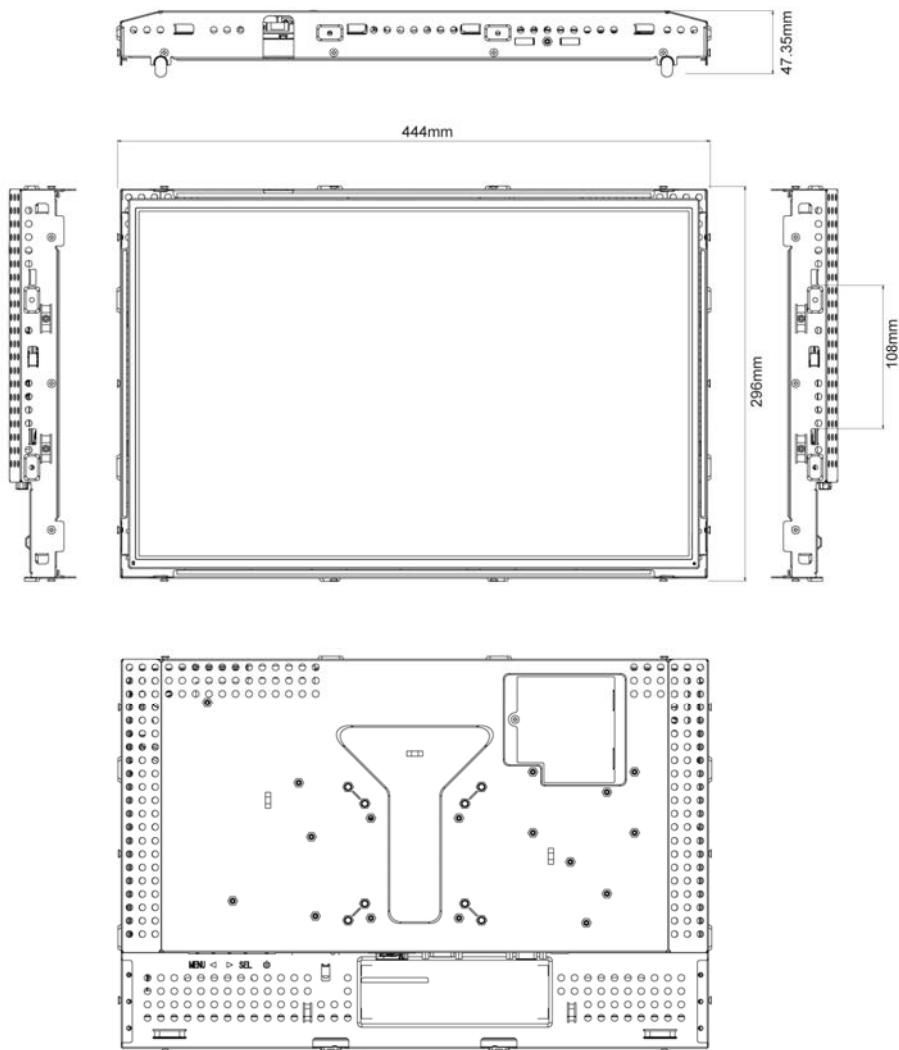
製品仕様

製品仕様

モデル	1938L
LCD方式	19.0型 TFTアクティブマトリックスパネル
表示サイズ	408(H) x 255(V) mm
画素ピッチ	0.284(H) x 0.284(V) mm
表示モード	VGA 640 x 350 (70Hz) VGA 720 x 400 (70Hz) VGA 640 x 480 (60 / 66 / 72Hz) SGA 800 x 600 (56 / 60 / 72Hz) XGA 1024 x 768 (60 / 65 / 72Hz) SXGA 1280 x 1024 (60 / 75Hz) 1440 x 900 (60Hz) 1152 x 864 (75Hz) 1280 x 768 (65Hz) 1680 x 1050 (60Hz) 1366 x 768 (60Hz) 1280 x 960 (60Hz) 832 x 624 (75Hz) 1280 x 768 (60Hz / 75Hz) 1360 x 768 (60Hz) WXGA 1440 x 900 (60Hz)
画素数	1000 : 1 (一般的)
コントラスト比	タッチパネルなし: 標準 230 cd/m ² 、最低 184 cd/m ² インテリタッチ: 標準 230 cd/m ² 、最低 184 cd/m ²
輝度	サーフェース・キャバシティブ: 標準 212 cd/m ² 、最低 170 cd/m ² セキュアタッチ: 標準 230 cd/m ² 、最低 184 cd/m ² APR: 標準 230 cd/m ² 、最低 184 cd/m ²
応答時間	Tr: 15 ms Tf: 7ms (標準値)
表示色数	1,677万色
視野角	垂直 ±89° (標準値) 水平 ±89° (標準値)
映像入力信号	アナログ 同期 DVI
映像信号コネクタ	RGBアナログ信号(0.7Vp-p/75 Ω)
リアパネルコントロール	TTL 正または負
OSD(オンスクリーンディスプレイ)	デジタルTMDS 入力
プラグ & プレイ機能	アナログ:ミニD-Sub 15 ピン、デジタル:DVI-D24ピン
タッチパネル方式	メニュー、◀、▶、選択、電源
電源アダプタ	コントラスト、輝度、水平位置調整、垂直位置調整、色温度、位相、クロック、OSD 時間、リコード、
作動条件	言語: 英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、日本語、韓国語、イタリア語、繁体字中国語、簡体字中国語
保存条件	DDC 2B
寸法(HxWxD)	インテリタッチ、サーフェースキャバシティブ、セキュアタッチ、APRのいずれかを搭載
(総)重量	入力AC 100-240V、50/60Hz
規格	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F) 20% ~ 80% (結露なきこと) 12,000フィート(3,657.6m)以下 -20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F) 10% ~ 90% (結露なきこと) 297 x 444 x 47 mm 4.75Kg UL, C-UL, FCC-B, CE, VCCI, C-Tick, MPRII, TUV T Mark EK, ETC, CCC, BSMI

注記: DVIはEUモデルには含まれていません。

19.0型 LCDタッチモニター(ET1938L-XXXA-X-G)の外寸法



規制情報

I. 電気安全情報:

- A) メーカーのラベルに記載の電圧、周波数など、必ず最新要件を順守してください。規定の電源と異なるものを接続するなど要件に従わない場合、不適切な稼動、装置への損傷、保証の無効、火災の原因を招く恐れがあります。
- B) 本装置内にはユーザが修理できる部品はありません。本装置が生じる危険電圧があり、安全上の問題を招く恐れがあります。修理は資格があるサービス技術者のみが行ってください。
- C) 本装置には取り外し可能な電源コードがあり、安全用接地コンセントに接続する安全アース線がついています。
 - 1) 指定のコード以外は使用しないでください。2ワイヤのコンセントにアダプタプラグを接続すると、接地ワイヤの導通を無効にしますのでどのような場合でも使用しないでください。
 - 2) 安全認定の一部として装置はアース線の使用を義務付けています。装置の改良あるいは誤用により感電を招く危険があり、重傷を負ったり死に至る場合があります。
 - 3) インストールについて質問がある場合は、主電源に装置をつなぐ前に資格のある電気技師あるいはメーカーに連絡してください。

II. 放射および電磁波耐性情報

- A) 米国内のユーザに対する通知: 本装置はFCC規則第15章に定められたクラスBデジタル装置に関する規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに適合するものと認定されています。これらの規則要件は、住宅や商用で設置した場合に有害な妨害から妥当に保護するためのものです。指示に従って本装置を取り付け、使用しなかった場合、電磁波を発生・使用し、外部に放射することがあり、無線通信に有害な混信を招く恐れがあります。
- B) カナダのユーザに対する通知: 本装置はカナダの無線妨害規制で定められたデジタル装置から放出される電波雑音に関するクラスBに適合しています。
- C) 欧州連合のユーザに対する通知: 装置に付属の電源コードと相互接続ケーブルだけを使用してください。規定のコードやケーブル以外を使用すると下記の規格規定の電気安全、放出あるいは電磁波耐性に関する認証マークを損なう可能性があります。

本情報処理装置(ITE)はメーカーのラベルに認証マークを貼付するように義務付けられており、下記の指示および基準に従って検査されたことを意味します。

本装置は欧州規格EN 55022クラスB記載の「EMC指令89/336/EEC」および欧州規格EN 60950に記載の「低電圧条項73/23/EEC」に基づいて認証マークの要件に従って検査されました。

D) すべてのユーザに対する一般情報: 本装置は無線周波エネルギーを発生・使用し、放射することがあります。本書に従って本装置を取り付けしたり利用しなかった場合は、無線通信およびテレビ通信の電波妨害を引き起こす可能性がありますが、場所によって妨害の原因が異なるため、特定の場所によっては妨害が起きないという保証はありません。

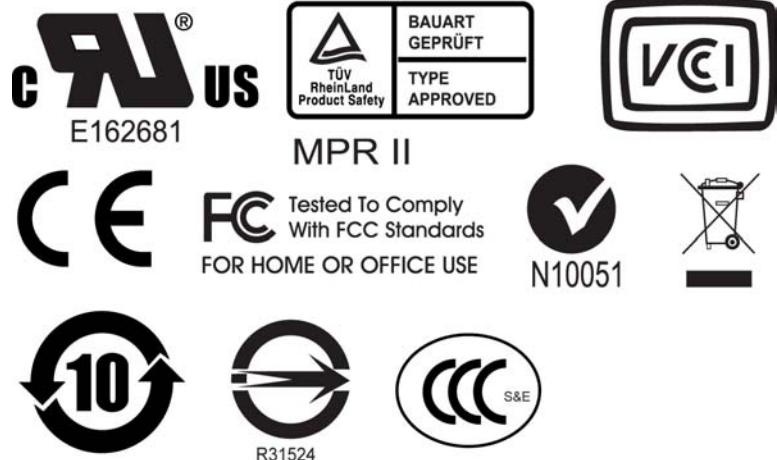
1) 放射および電磁波耐性の要件を満たすため、ユーザは必ず下記事項を順守してください:

- a) 本デジタル装置とコンピュータを接続する場合は、付属のI/Oケーブルのみを使用してください。
- b) 要件を順守するために、メーカー指定のラインコードのみを使用してください。
- c) 要件順守の責任がある当事者によって明確に承認されていない 装置を変更・修正すると、ユーザが装置の操作権利を失う可能性があるという点についてユーザは注意を受けています。

2) 本装置がラジオあるいはテレビ受信、あるいはその他の装置の受信妨害を引き起こす原因であると思われる場合:

- a) 装置の電源をオフ／オンにして放射元を確認してください。
- b) 本装置が妨害元であると確認される場合は、下記のいずれかの方法で妨害しないように修正してください:
 - i) 妨害を受けたレシーバーからデジタル装置を離す。
 - ii) 妨害を受けたレシーバーに対してデジタル装置を再配置(向きを変える)する。
 - iii) 妨害を受けたレシーバーのアンテナの向きを変える。
 - iv) デジタル装置とレシーバーの分岐回路が異なるようにデジタル装置を違うACコンセントに差し込む。
 - v) デジタル装置が使用しないI/Oケーブルの接続を切って取り外す。(I/Oケーブルの接続を切ると、電波周波数の放出レベルを増加する可能性があります。)
 - vi) デジタル装置を接地コンセントのみに差し込む。ACアダプタープラグを使用しないこと。(接地したラインコードを取り外したり切ったりすると無線周波数の放出レベルを増加する可能性があります。また、ユーザに致死的な感電の危険を及ぼす可能性もあります。)

さらに援助が必要な場合は、ディーラー、メーカー、ベテランの無線あるいはテレビ技術者に相談してください。



当該クラスBのデジタル機器はCanadian Interference-Causing Equipment Regulations (カナダ干渉発生機器規格)の要件をすべて満たしています。

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

本機器は米連邦通信委員会(FCC)規制第15部を準拠しています。操作する場合は以下の条件に従ってください。(1) 本装置は有害な妨害の原因とならない。(2) 本装置は好ましくない操作の原因となる妨害なども含めてすべての干渉を受信する。

E) 日本のユーザーに対する通知:

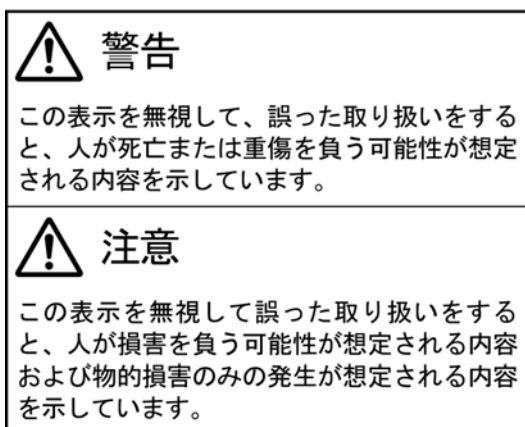
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ご使用の前に

警告表示について

本書では次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



使用している絵記号の意味

- △は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容が描かれています。(例: △ 感電注意)
- に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。
○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。(例: ○ 分解禁止)
- は、しなければならない行為を示す記号です。
●の近くに、具体的な指示内容が描かれています。(例: ● 電源プラグを抜く)

安全にお使いいただくために

ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。



万一、異常が発生したら



煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはタッチパネル・システムズ株式会社に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となることがあります。

改造しない



内部には電圧の高い部分があり、改造を行うと火災や感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理は、販売店またはタッチパネル・システムズ株式会社にご依頼ください。

異物を入れない



LCDタッチモジュールの通風孔から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とさないようにしてください。火災や感電または故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはタッチパネル・システムズ株式会社にご連絡ください。



警告

花びんやカップをLCDタッチモジュールの近くに置かない



禁止



電源プラグを抜く

水やその他の液体、溶剤の入った容器をLCDタッチモジュールの近くに置かないようにしてください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となることがあります。

万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはタッチパネル・システムズ株式会社にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



禁止



電源プラグを抜く

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないようしてください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。

万一、LCDタッチモジュールを落とした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはタッチパネル・システムズ株式会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

水のある場所で使わない



水場での
使用禁止

浴室や洗面所など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないようにしてください。火災や感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードの上に重い物をのせたり、LCDタッチモジュールの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となることがあります。コードが傷んだらすぐに販売店またはタッチパネル・システムズ株式会社に交換をご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグおよびコンセントなどに触れないようにしてください。落雷し、感電や火災の原因となることがあります。



警告

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグおよびコンセントなどに触れないようにしてください。落雷し、感電や火災の原因となることがあります。

廃棄する場合は一般の廃棄物と一緒にしない



禁止

ごみ廃棄場で処分されるごみの中に液晶ディスプレイを捨てないでください。使用しているバックライト（蛍光管）の中には水銀が含まれていますので、廃棄にあたっては地方自治体の条例、または規則に従ってください。



注意

置き場所を選ぶ



禁止

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く

通風孔をふさがない



禁止

次のような使い方はしないでください

- × 仰向けや横倒し、逆さまにする
- × 押し入れ、本棚など風通しの悪いせまい所に押し込む
- × じゅうたんや布団の上に置く
- × テーブルクロスなどをかける

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、タッチモニターは周囲から10cm以上離して置いてください。

筐体などに組込まれる場合はファン等を設け、熱がこもらないようにしてください。

プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。



注意

移動させるとときは、外部の接続コードをはずす



禁止

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。

旅行などで長時間使わないときは、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

コンピュータの上にタッチモニターを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。

プラグを持って抜く

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない



接触禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないようにしてください。感電の原因となることがあります。

付属の電源コードケーブルは本機以外に使わない



禁止

付属のAC電源ケーブル及び電源変換アダプタ（3ピン-2ピン）は、本製品にのみご使用願います。

正しくご使用いただくために

目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～60cm離れたくらいが見やすくて疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。

また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休息をおすすめします。

筐体やケースに組込む場合の注意

本機を筐体やケース内に入れて使用される場合は、LCDタッチモジュールの周囲温度が使用範囲を外れることがないように設計してください。冷却ファンなどを適切な位置に使用されることをおすすめします。

用途制限について

本製品は、人の生命に直接関わる装置および公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置を含むシステムに使用できるよう開発・製作されたものではありませんので、それらの用途には使用しないようにしてください。

アフターサービス

保証書／保証期間について

■本製品の保証書は、本書裏表紙に記載されています。

■保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■保証期間は本体お買い上げ日より3年間です。また中古販売の製品については3年間の保証は適用されません。

修理サービス

■「困ったとき」でチェックしても症状が解消されない場合、お買い上げの販売店名またはタッチパネル・システムズ株式会社へご連絡ください。

■修理や点検のためタッチモジュールを輸送される時は、専用の梱包箱、梱包材をご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、タッチモジュールが破損したり、故障の原因となることがあります。なお、この事由による修理は保証期間内であっても有料となります。お手元に専用の梱包材がない場合は、送付前に必ずタッチパネル・システムズ株式会社までご連絡ください。

■本製品の修理対応は製造終了後5年となっております。ただし故障箇所によっては修理不可能な場合がありますので、お買い上げの販売店またはタッチパネル・システムズ株式会社にご相談ください。

廃棄について

■本製品を、ごみ廃棄場で処理される一般のごみと一緒に捨てないでください。本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

保証

特に指定のない限り、あるいは買い手に対する受注承諾がない限り、売り手は製品の材質や仕上がりに欠陥がないことを買い手に保証します。タッチモニターおよび製品部品の保証は地域的なものですので、お住まいの地域の支社にご連絡ください。

売り手はモデル部品の寿命についての保証はしません。売り手の供給者は、常時および時折、製品として出荷した部品の変更を行うことがあります。上記の保証に適合する製品の不具合が発見した場合、売り手は買い手に対して迅速に(どのような場合でも発見から三十(30)日以内に)書面にて通知しなければなりません。通知には、そのような不具合に関する状況など商用的に適度な詳細を記述しなければなりません。また、可能な場合は、売り手はインストールした製品の検査を行わなければなりません。売り手による書面の指示があった場合を除いて、通知はそのような製品の保証期間内に売り手が受領する必要があります。そのような通知を送付してから三十(30)日以内に、買い手は不良品であるとされている製品を受領時の出荷用ダンボール箱、あるいは機能的に同等のものに梱包して買い手の費用および危険で売り手宛に発送しなければなりません。

不良品であるとされている製品を受領してから、および売り手が上記の保証を製品が満たしていないという確認をしてから適度な期間内に、売り手は (i) 製品の修理あるいは変更、(ii) 製品の交換 のどちらかの方法によってそのような不良品を修正しなければなりません。製品のそのような変更、修理、交換、および返却する際には買い手に対して最低の保険を含み、費用は売り手側が支払うこととします。製品発送中に起きる紛失あるいは損傷の危険は買い手が負い、買い手はその製品に保険をかけることができます。買い手は製品の返品にかかる郵送料を売り手から払い戻し請求できますが、売り手が不良品ないと判断した場合は払い戻し請求はできません。製品の変更、修理は売り手のオプションによって行い、売り手の施設か買い手の敷地のどちらかで行います。売り手が上記の保証に適合した製品の変更、修理、交換を提供できない場合は、売り手は売り手のオプションによって製品購入価格から買い手が提示する保証期間の定額減価償却を差し引いた額を買い手に払い戻しするか、買い手の口座に入金する必要があります。

これらの救済措置は保証不履行が起きた場合の買い手専用の救済措置とします。上記に明示されている保証を除いて、売り手は製品の目的適合性、品質、商品性、権利を侵害していないことなどの点を含む明示または暗示の保証を認めません。売り手の従業員、あるいはいかなる当事者も本書に記載の保証以外は商品の一切の保証をしてはなりません。保証に基づく売り手の負担は製品の購入価格を払い戻しすることに限定します。いかなる場合も売り手は買い手が購入、あるいは取り付けた代替品の価格、あるいは一切の特別な、誘発的、間接的、偶発的な損傷などの責任は負いません。

買い手は危険要素を前提とし、(i) 買い手の製品の使用目的に対する適合性、一切のシステム設計あるいは製図の評価、(ii) 買い手が使用する製品の適用法、規制、規約、標準規格に対する順守の判断、などに関するすべての責任から補償しつつ無害に保つことを補償し同意します。買い手は、売り手が製造、供給した製品、部品を含むあるいは盛り込むすべての保証およびその他の請求に対するすべての責任を保持しつつ受理します。買い手は買い手が認可する製品に関する一切かつすべての言明事項、保証に対する唯一の責任を負います。買い手は売り手を補償し、買い手の製品、言明事項、保証に起因する一切の負債、請求、損失、価格、費用など(妥当な弁護士の料金を含む)同様のものに対して損害を売り手に与えません。

保証書

本保証書は日本国内においてのみ有効です。

本保証書は、本記載内容で無料修理させていただくことをお約束するものです。本保証書は所定事項を記入して効力を発するものですから必ず型名、製造番号、お買い上げ日、お客様名、ご住所、電話番号、販売店名の記入をご確認ください。

型番	製造番号
保証期間	お買い上げ日
お客様名	
住所 〒	
TEL.	
販売店名	担当者
住所 〒	
TEL.	

<保証条件>

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等に従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容にもとづきタッチパネル・システムズ株式会社が無償修理します。
2. 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、お買い上げの販売店またはタッチパネル・システムズ株式会社に製品と保証書をご提示の上依頼してください。
尚、製品を発送される場合の送料はお客様のご負担となりますのでご了承ください。
3. 本製品の故障やその使用によって生じた直接または間接の損害について、弊社はその責任を負わないものとします。
4. 保証期間内でも次のような場合は有償修理となります。
 - (1) 保証書をご提示されないとき。
 - (2) 本保証書の所定事項の未記入、記載内容の書き換えられたもの。
 - (3) 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異、公害や異常電圧による故障または損害。
 - (4) お買い上げ後の輸送、移動時のお取扱いが落下等不適当なため生じた故障または損害。
 - (5) 取扱説明書に記載の使用方法や注意に反するお取扱いによって生じた故障または損害。
 - (6) CRT、バックライトは消耗品のため、その交換が必要な場合（特に同一画面を長時間表示し続けると焼付の原因となります。この場合スクリーンセーバー等で事前防止をお勧めします）。
5. 本保証書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についての詳細はお買い上げの販売店またはタッチパネル・システムズ株式会社までお問い合わせください。

タッチパネル・システムズ リペアセンター

■月曜日～金曜日（但し、弊社指定休日は除く）9:00～12:00、13:00～17:00

TEL 045-475-5237 ／ FAX 045-475-5238

保守契約につきましてはタッチパネル・システムズ株式会社 営業部までお願ひいたします。

■月曜日～金曜日（但し、弊社指定休日は除く）9:00～12:00、13:00～17:00

TEL 045-478-2161 ／ FAX 045-478-2180

索引

【英数字】

OSD調整項目:17ページ
 OSDメニューの機能:16ページ
 OSDリモコン(オプション):15ページ
 SVGA:22ページ
 SXGA:22ページ
 USBタッチパネルドライバのインストール:15ページ
 UXGA:22ページ
 VGA:22ページ
 Windows XP用APR USBタッチパネルドライバの
 インストール:13ページ
 Windows XP、Windows 2000、Me、95/98用タッチパネルドライ
 バのインストール): 11ページ
 XGA:22ページ

【ア行】

インストールとセットアップ:7ページ
 映像信号コネクタ:27ページ
 映像入力信号:27ページ
 応答速度:27ページ
 オンスクリーンディスプレイ(OSD):15ページ

【カ行】

画素数:27ページ
 画素ピッチ:27ページ
 規格:27ページ
 規制情報:29ページ
 輝度:27ページ
 コントラスト比:27ページ
 梱包内容の確認:7ページ

【サ行】

視野角:27ページ
 使用温度範囲:27ページ
 使用上のご注意:24ページ
 製品概要:5ページ
 製品仕様:26ページ
 製品について:6ページ
 製品の外観:9ページ
 制御および調整:16ページ
 接続方法:8ページ
 尺法(H x W x D):28ページ
 前面図:9ページ
 事前注意事項:5ページ
 (総)重量:27ページ

【タ行】

タッチモニターの調節:14ページ
 タッチが作動しない:21ページ
 タッチモニターのお手入れ／取り扱い:25ページ
 タッチパネル方式:27ページ
 電気安全情報:35ページ
 タッチパネルドライバのインストール:10ページ
 電源アダプタ:27ページ
 トラブルシューティング:20ページ

【ナ行】

認証:27ページ
 ネイティブ解像度:22ページ

【ハ行】

背面図:、9ページ
 パワーマネジメント機能:19ページ
 プラグ＆プレイ機能:27ページ
 表示色:27ページ
 表示モード:27ページ
 表示サイズ:27ページ
 放射および電磁波耐性情報:29ページ
 保存温度範囲:27ページ
 保証:37ページ

【マ行】

リアパネルコントロール:15ページ

【ワ行】

【ヤ行】
 よくある問題の解決方法:20ページ

www.elotouch.com

最新情報をご覧ください

・製品情報

・仕様

・次回イベントに関するニュース

・プレスリリース

・タッチパネルドライバソフト

・タッチモニター(ニュースレター)

Elo TouchSystemsの連絡先

Elo TouchSystemsのタッチソリューションに関する情報については、弊社のウェブサイト www.elotouch.comをご覧いただか、最寄のオフィスまでご連絡ください。

北米

Elo TouchSystems
301 Constitution Drive,
Menlo Park, CA 94025
USA

(800) ELO-TOUCH
(800-356-8682)
電話: 650-361-4800
Fax: 650-361-4722
customerservice@elotouch.com

ドイツ

Tyco Electronics Raychem GmbH
(Elo TouchSystems Division)
Finsinger Feld 1
D-85521 Ottobrunn
Germany

電話: +49(0)(89)60822-0
Fax: +49(0)(89)60822-180
elosales@elotouch.com

ベルギー

Tyco Electronics Raychem GmbH
(Elo TouchSystems Division)
Diestsesteenweg 692
B-3010 Kessel-Lo
Belgium

電話: +32(0)(16)35-2100
Fax: +32(0)(16)35-2101
elosales@elotouch.com

アジア太平洋

Sun Homada Bldg. 2F
1-19-20 Shin-Yokohama
Kanagawa 222-0033
Japan

電話: +81(45)478-2161
Fax: +81(45)478-2180
www.tps.co.jp

